

「Karada Good Miyazaki フェスタ 2026」の実施に係る業務委託仕様書 (宮崎県環境森林課委託分)

1 委託業務の目的

「食」と「健康」を考える上で、地元の旬な食材を選ぶことや、移動手段を徒歩や自転車に切り替えることは効果的な取組であり、地球温暖化の抑制にもつながる。

また、地球温暖化は、食料の持続的な安定供給や熱中症、感染症など、「食」と「健康」に非常に大きな影響を及ぼすため、温室効果ガスの排出抑制を目指す脱炭素社会づくりの啓発をあわせて行うことで、さらなる気運醸成や行動変容を促進することを目的とする。

2 委託業務の概要

宮崎県環境森林課委託分として、下記の業務を実施する。

県と協議しながら、次の業務を企画し、実施する。

(1) 環境森林課ブースの運営

会場内に専用のブースを設け、スタッフを配置のうえ、運営及び啓発資材の配付等をおこなうこと。啓発資材は、本イベントで配布することを想定して、その種類や数量を提案し、作成すること。そのほか、ブースや会場内に掲示するポスター、立看板、のぼり旗等を作成すること。

ア ミライ地球ガチャブース

4種類の質問を色分けした上で掲示しておき、来場者がガチャを回し、出てきたカプセルの中の回答用紙の色に対応した質問への回答を記入、壁等に貼り出す。ブースにはバナーを設置すること。

使用後のカプセルは原則回収すること。

回答した来場者を対象にノベルティを配布すること。

イ 体験型ブース

来場者が楽しみながらゼロカーボンについて学べるようなイベントを提案し、実施すること。なお、次に挙げる2種類のイベントを必ず実施すること。

○地球温暖化への適応に関するイベント

(例) 降雨体験、浸水体験 等

○発電を体験できるイベント

(例) 手回し発電の魚釣り、ソーラートレイン 等

ウ 環境保全団体等のブース

募集・調整は主催者が実施(6団体を予定)。

(2) 屋内ステージでのPR

屋内ステージにおいて、「脱炭素社会づくり」をPRする企画を提案し、実施すること（例：来場者を対象としたクイズ、脱炭素の推進に関するパフォーマンスの披露など）。

3 委託限度額

2, 600千円（消費税及び地方消費税を含む。）